

○青森県森林組合連合会と青森県内素材生産・販売担当者との「山元委託販売打合せ会議」に出席しました。

令和5年9月6日（水）に青森県森林組合連合会の主催で開催された「令和5年度 第1回国有林野産物の山元委託販売打合せ会議」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は打合せ会議と製材工場見学の2部構成となっており、前半の打合せ会議は五所川原市の金木公民館において行われました。冒頭、青森県森林組合連合会の黒滝代表理事常務から挨拶があり、続いて青森県森林組合連合会の担当者から今年度の木材市況動向について説明が行われました。また、各森林管理署の担当者からは委託販売の進捗状況や今後の販売見通しについて情報提供があり、青森事務所からは青森県内での今後の生産・販売見通しについて情報提供し、その後意見交換となりました。昨年度から丸太の販売不振は叫ばれていましたが、今年度はさらに丸太の販売を取り巻く状況が悪化しています。そのような中、会議を通して最新の情勢を踏まえた販売状況について情報共有を図ることができ、広葉樹の採材や出材等を含めて有意義な意見交換を行うことができました。

後半の工場見学は同市内の「有限会社なかにし」にて行われました。まず、会社から会社説明と2年前に完成した新製材工場について説明をいただき、実際に工場の見学へ移りました。新工場では少量多品種生産、省力化が進められており、省スペースの中で丸太が製材されていく様子を見ながら導入された各機械の役割・特徴など理解することができました。

青森事務所では、今後も国有林材の安定供給や有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。



(委託販売打合せ会議の様子)



(製材工場の見学)